Moduloスマイル紹介

今シーズン、2名の新メンバーが加わった
Modulo Nakajima Racingのレースアンバサダー（RA）。
3年目の池永百合さん（以下ゆりり）から、
チームのことをいろいろ教えてもらいましょう!

――まずは、今シーズンから
Modulo Nakajima Racingファミリーの一員と
なったお二人の自己紹介をお願いします。

根岸しおり（以下ねぎしお）
はい! では私から。Moduloスマイルを務めます、「ねぎしお」こと根岸しおりです。RA歴は3年で、GT500クラスのチームに入るのは今シーズンが初めてです。これまではGT300クラスやS耐、ラリーなど、いろんなカテゴリーのRAをしてきました。知り合いがRAをやっていたので、今その子と同じようにサーキットでお仕事ができているのはすごくうれしいです。

星沢しおり（以下しおりん）
今シーズンKENWOODレディを務めます、「しおりん」こと星沢しおりと申します。私は、2016年から2年ほど鈴鹿サーキットのサーキットクイーンをしていました。そこがモータースポーツとの出会いなのですが、SUPER GTやSUPER FORMULAといったビッグレースでRAの方を見ていると、私もチームの一員として、一つのチームを応援していきたいという気持ちが強くなってきて、そこからRAを目指すようになりました。2018年にS耐のチームでデビューし、2年目はGT300クラスでもお仕事をさせていただきました。コロナ禍で2年間空いてしまったのですが、またレースに挑戦しようという思いで戻ってきました!

――それでは、お二人にModulo Nakajima Racing
のことをもっと深く知ってもらえるように、
ゆりり先輩にいろいろ聞いてみましょう。
ゆりり先輩から見て、
中嶋悟監督はどんな方ですか?

ゆりり
難しい顔をされることはありますが、怒るイメージはないです。選手やエンジニアの方が「こうしたほうがいいんじゃないか?」という意見を伝えると、「じゃあそれでいこうか」みたいな感じで話し合っている場面をよくお見かけするので、チームみんなの話をきちんと聞いてくださる方なんだなと思いますね。F1で活躍されたすごい方なので、緊張もするし話しかけてもいいのかなと遠慮がちになりますが、実際に話しかけると笑顔で対応してくださいます。

――伊沢拓也選手はどんな方でしょう?

ゆりり
クールでドライな方という印象から怖いイメージを持っていたのですが、実際に接してみると面白いし優しいです。それに、すごく気遣いができる方です!例えば、私たちは、雨が降っているときも風が強いときでも選手が濡れないように気をつけて傘をさすのですが、「このさし方だとそっちが濡れるよ」と私たちへの気遣いも忘れないですし、ファンサービスの際の小さいお子さんには、しゃがんで目線を合わせたりするところが優しいなって思います。振る舞いがスマートですね。

――大草りき選手は
Modulo Nakajima Racingに来て2年目で、
ゆりり先輩の方が少しチーム歴は長いですね。

ゆりり
なんというか……たぶんまだ、心を開き切っていないような気がします。でも、大草選手も周りの方への配慮が丁寧だと感じます。また、なんといってもファンサービス! 男女問わず、お子様から大人までファンがたくさんいて大草選手の自然体のやさしさに惹かれるんだろうなって近くで見ていてほっこりします。

ねぎしお
そうそう! ファンの方を覚えていらっしゃるみたいで、よくお話していますよね。

ゆりり
ああいう姿は、見習いたいなと思います。

――ゆりり先輩から監督とドライバーの事を
教えてもらいましたが、
ねぎしおとしおりん、いかがですか?。

ねぎしお
はじめのうちは、やっぱり監督の存在がとても大きいというか、緊張感の高いピリピリしたチームなのかなと思っていました。でも、皆さんと初めてご挨拶することになった2月のModuloサンクスデーのときに、それまで抱いていたイメージとは全く違っていて、とても穏やかで優しいチームだなって感じて、いまもサーキットにいるあいだは変わりません。

しおりん
Modulo Nakajima RacingでGT500のRAデビューをさせていただけるのは本当に感慨深くて、当時の自分に言ってあげたいぐらい! Hondaのイメージとしてもすごく真面目で硬いと思っていたのですが、昨年までKENWOODレディを務めていた、サーキットクイーンの先輩でもある津田知美先輩も、チームがとてもアットホームで楽しくて、すごく大好きな空間だって言っていたので、ワクワクしながら開幕戦を迎えました。その開幕戦から伊沢選手とお話しする機会があって勝手に「GT500ってとても敷居が高くて選手とお話しする機会なんて絶対ない」と思い込んでいたので、なんだか自分もチームの一員になれたなと実感したのを今でも鮮明に憶えています。

――シーズン前半から早くもチームに溶け込みつ
つあるお二人に、ゆりり先輩からチームを応
援するときのポイントを伝授してください。

ゆりり
一番のポイントは、やはりGT500クラス唯一のダンロップタイヤユーザーだというところですね。1台しかいないという点が厳しい部分もありますが、昨シーズンはポールポジションを獲ったり、今シーズンの開幕戦も厳しいコンディションの中でポイント圏内に入ったり、自分たちだけの武器が力を発揮している場面もあって、そこはすごく楽しみですし、嬉しくなるところです。あと、昨シーズンからチームの目指すところが一段階上がったように思います。ポイント獲得じゃ満足しない、てっぺんをとるぞという空気感と姿は、やっぱりかっこいいですね。

――最後に、そんなファミリーである
スポンサーの皆さまへ
3人から一言ずつメッセージをお願いします。

ゆりり
私は、Modulo Nakajima Racing 3年目になるので、2人にもっとこのチームの良さを伝えて、もっともっと好きになってもらえるように努めたいです。Moduloスマイルとしては、やっぱりチームと一緒に表彰台に上がりたい! 欲を言えば、表彰台のてっぺんでドライバーのお二人と監督が笑っている姿を見て一緒に喜びたいなと思っています。引きつづき、一緒に応援をしましょう!

ねぎしお
Modulo Nakajima Racingの一員として、Moduloスマイルとして念願のGT500デビューをさせていただけたこと、本当に感謝しています。ゆりりちゃんの背中を見て、チームのこともクルマのこともいろんな人に好きになってもらえるようたくさん勉強して、チームの一員として頑張りたいです。

しおりん
まずは、チームの皆さま、スポンサーの皆さま、私を受け入れてくださってありがとうございます。開幕戦で皆さんがすごくあたたかく迎えてくださったので、私も皆さんと同じ気持ちになって一緒に応援したい!という思いが強くなりました。皆さんと一緒に1年間戦えることを嬉しく思っています。どうぞよろしくお願いいたします!